

平成25年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	○北海道大学、東京大学、酪農学園大学
構 想 名	日本とタイの獣医学教育連携： アジアの健全な発展のために

〔評価コメント〕

本構想は、動物の感染症、食の安全、環境汚染、絶滅危惧野生動物種の保全、動物福祉など、アジア各国が抱える（動物関連）健康諸課題を俯瞰し、グローバルな発想と思考力、コミュニケーション力を持ち、国際的に通用する獣医師及び獣医学研究者・教育者を養成し、アジアの健全な発展に資することを目的としたプログラムであり、日本の獣医学分野をリードする3大学が連携し、それぞれの特徴と、ASEAN 地域側（タイ）のパートナー大学の特色を活かした意欲ある取組である。その展開にあたっては、日本とタイの獣医学教育プログラムの強みと弱みを相互補完する工夫がなされ、獣医学教育6年制プログラムの利点を活かし、所定の修業年限内での学生流動を組み込み、専門性の高い人材を育成しようとする計画は高く評価できる。

また、学生の支援体制についても、これまでにタイのパートナー大学との協議を通じて準備を行ってきており、今後は日本人教員を Kasetsart University に駐在させるとともに、この事業担当の外国人教員を国際公募する予定であることなどから、学生の派遣前、派遣中、派遣後のケアに関しても環境を整備しつつあることが伺え、期待できる。

一方で、日本からの派遣、タイからの受入学生数の確保に関しては、全体の学生数に対して非常に高い数値目標を掲げており、その実現化に向けては学生の意識喚起への努力などを含めて更なる検討が望まれる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、SEAMEO-RIHED の AIMS プログラムに参加する日本の代表大学として、我が国及び ASEAN 地域の発展と繁栄に資する人材育成交流プログラムの実現に向け、戦略的な高等教育連携を構築していくことの意義とその責任、期待の重さを認識し、真摯に取り組まれることを強く要請する。